

たまご
地域で他孫育て
いろいろな応援のしかた

学校応援団



地域で子どもたちのために、何かサポート出来ないかと校長先生に相談したのをきっかけに、「学校応援団」をスタート。

できることをできるときにできる人が、地域の子どもと一緒に育てるために、学校をサポートしています。例えば1年生の下校サポート、給食サポート、ミシンサポート、プールのみまもり、トイレ掃除、また毎朝のみまもりと学校周辺の清掃、農業体験として米作りや、野菜作りの支援等々、特技を生かしてたくさんの方が活動をしています。

少しのお手伝いが学校、子どもたち、保護者、そして地域の私たちみんながハッピーになれると感じています。一緒に活動を始めてみませんか？

問い合わせ先：宝塚市社会教育課 0797-77-2029



在宅ボランティア

在宅ボランティアは、時間・場所・特定のグループに拘らずに自分の得意や趣味を活かすことができる活動です。子育て世代の為の裁縫、工作材料の収集や手作り、おもちゃの日曜大工など。小さな活動でも、地域のニーズに合わせて協力し、連携を築くことで、あなたの趣味やスキルが子育て支援のボランティア活動になります。興味がある！という方は、まずは宝塚ボランティアプラザ zukavo などでも相談に乗ってもらおうのがおすすめです。

問い合わせ先：宝塚ボランティアプラザ zukavo 0797-86-5001

保育サポーター

Tさん(65歳男性)は、定年後娘さんの子育て状況の大変さを目の当たりにして、保育園で子育てを応援したいとの思いで、宝塚市の「健康・生きがい就労トライアル保育サポーター」事業に参加されたそうです。「このトライアルは子育て応援の思いを形にする良い機会だった。保育園では、子ども達の遊び相手や掃除、設備の安全管理などをしていて子どもから元気をもらい楽しい時を過ごしているよ」と取材に応じてくださいました。



問い合わせ先：宝塚市地域福祉課 0797-77-0653

おやこイベントのサポート

「子どもたちにパワーもらったわ」そう話してくれたのは、初めてボランティア活動に参加された60代の女性。なにかやってみたかったけど、きっかけがないなあ。そう思っていたとき、宝塚ボランティアプラザ zukavo からきたLINEのお知らせ。「おやこイベントの単発お手伝いしませんか？」内容はイベントの受付とお菓子のプレゼント配布のお手伝い。自分のできることが役に立ってよかったわ、またやってみたくて笑顔で話してくださいました。

おやこイベントのお手伝い、はじめてみませんか？

問い合わせ先：こもたのプロジェクト contact@comotano.com



シニアインタビュー 子育ていま・むかし

子育ての思い出
川上マーサさん



私には3人の娘がいます。その子らを育てている時は、なるべく公園に連れて行ったり同じ年の子どもと遊べるようにと、これだけは一生懸命しました。自分も外が好きだったからですが、大変しんどかったです。3人目は生まれた時から紙おもちゃが使えるようになり大変助かりました。上の子どもたちが「赤ちゃんって、思っているより大変やな」って話しているのが聞こえた時は「そうやね。わかっているね」って思いました。余談になりますが、夫曰く「上の子が中学生くらいの時に赤ちゃんが家にいるのは大変良かった」娘たち曰く「お父さんにとって三番目の子が生まれたことは良かった。ぐっと父親らしくなったもんね」息子がないので今どきのパパ達のことはよくわかりません。でも、奥さんを大切にすることが楽しい育児につながっていくのかな？と思います。

孫はなにをしても「かわいい」
岡由美子さん



子どもがあそんでいたミニカーを、孫がまた遊ぶ姿をみていると、“よき時代”がよみがえってくるの、と話す岡さん。子育てって『喜怒哀楽』すべてがそこにあって、一瞬一瞬が一生懸命だったなど。今と昔の子育てで違うのは『情報の量』と『移動の距離』かも。たくさんの人や情報に出会う機会が増えた分、『比べる』ことが増え、『不安』につながっているのかな、とお孫さんたちの成長を見守りながら感じているそうです。最近のマイテーマは『環境は輸入できない』本に書かれてあったその言葉に、大切にしたいことが詰まっていると感じているのだそう。自然とのふれあい、人の知恵、など受け継がれてきたものを外から買ってくることはできないのよね、と。華やかで楽しい場所、便利な物もたくさんあるけれど、「昔も今も変わらず残していきたいと思うものは、守っていきたいわ」と話してくださいました。

今ドキ育児

粉ミルクの進化版「液体ミルク」

「液体ミルク」があるってご存じですか？

哺乳ビンに移してすぐのめるので、夜泣きや、外出時など、すぐにミルクをあげられる優れモノ。粉ミルクというと、哺乳瓶を消毒し、湯冷ましを入れてなど慣れていないと作るのに戸惑いますが、液体ミルクは開けてすぐに飲ませられるので、祖父母も育児に参加しやすくなると言われています。また、災害時など水がないときなどにも重宝するそうで、防災グッズの一つとしても注目されています。



孫に会い
福沢諭吉
とんでいく

ひ孫抱く
足腰痛い
医者通い

寝顔見て
今日一日の
疲れとる

じじばばが
一番張り切る
お買い物

娘より
会話が弾む
孫かわいい

孫・他孫育て
たまご
川柳

募集中

川柳で「孫・他孫(たまご)育て」をもっと楽しく！
次回掲載の「孫育て川柳」を募集しています！
みなさまの渾身の一句をお待ちしております
メールアドレス entakumachinet@gmail.com